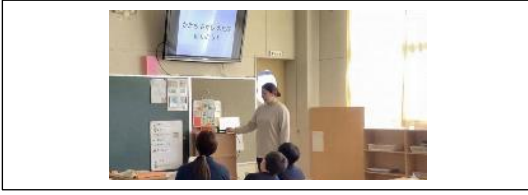


新庄養護学校小学部 1年 算数

かたちさがしの たびに いこう



日時：令和7年12月2日（火）10：05～10：50
 場所：小学部1組教室
 対象：小学部1年 3名
 授業者：土屋智香 教諭

1 主に活用した機器・コンテンツ

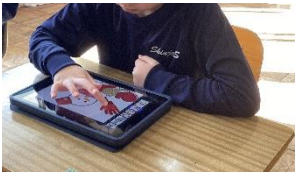
Keynote、大型提示装置（TV）、AppleTV、一人一台タブレット（iPad）

2 授業

(1) 本時の目標

- ◎学校の中にある形を見つけることができる。【知識及び技能】
 ・見つけた形を友達に伝えることができる。【思考力、判断力、表現力】


(2) 指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※2
導入 一斉 A1	<ul style="list-style-type: none"> ●はじめのあいさつ ●学習内容の確認 ●動画を視聴する。 	○大型提示装置（TV）で本時の流れや形を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置（TV） 	A2①fステップ1 情報の大体を捉える方法
展開 協働 C1	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の中にあるいろいろな形を探し、見つけたら写真を撮る。（本時では丸を探す。） ●友だちどんな形を見つけたのかを伝える。 	○iPadの使い方について、約束を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大型提示装置（TV） ・iPad（カメラ） 	C2①bステップ1 コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする。
個別 B1	<ul style="list-style-type: none"> ●形のなぞりがきやマッチングをする。 	<p>○ICT 活用ポイント1 TVで映しながら発表をし、どんな形を見つけたか、全員で共有できるようにする。</p> <p>○ICT 活用ポイント1 Keynoteの描画機能でいろいろな形をなぞり書きしたり、マッチングをしたりできるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・AppleTV ・一人一台端末 	A1①cステップ1 iPadの起動、イラストをドラッグする、指をスライドさせて対象物をなぞるなどの基本操作
まとめ	●振り返り、次回予告			

3 ICT 活用ポイント

ICT 活用ポイント1 C1 協働学習

児童が見つけた形の写真を iPad で撮影し、写真の中の形をなぞりながら学校の中にはどんな形があったかを全体で確認する。どんな形を見つけたかを、大型提示装置 (TV) に映して一人ずつ発表できるようにする。




- ・児童が撮影した写真を大型提示装置に映しながら、発表活動を行う。
- ・その際、写真アプリの『マークアップ』機能を活用して、教師が対象の形をリアルタイムでなぞり、児童の発見を視覚的に強調しながらの共有ができるようにする。

C2①b ステップ1


コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする

ICT 活用ポイント2 B1 個に応じた学習

一人一台端末と Keynote の描画機能を組み合わせ、楽しみながら形のなぞり書き、マッチングに取り組める環境を作る。「紙と鉛筆」に苦手意識を持つ児童でも、タブレットなら直感的に操作できるため、心理的な負担を大きく軽減できる。まずはデジタルで「書く楽しさ」や「できた!」という自信を育みながら、無理なく形を覚え、手指の巧緻性を高めるといふねらいで活用している。



なぞってあよう



なぞりがき教材【keynote】

- ・いろいろな形をなぞれるように点線でできた形のスライドを用意する。
- ・児童が描画機能でなぞっているときに点線でできた形（なぞるもの）が動かないよう、Keynote のロック機能を使用する。

マッチング教材【keynote】

- ・前時までで同じものをそろえる学習をしていたため、似ている形や色・模様の中から、同じものを選ぶ活動をする。一人一台端末で、同じイラストを選び、スライドさせてマッチングの学習を行う。(実態に合わせて、イラストの個数や、配置、ヒントの量を変える。)

A1①c ステップ1

iPad の起動、イラストをドラッグする、指をスライドさせて対象物をなぞるなどの基本操作。

4 活用の成果

- ・大型提示装置を用いて発表を行うことで、児童は発表者や画面に注目して話を聞くことができるようになった。視覚的な情報を共有しながら聞くことで相互理解が深まり、友達の見解を自分の考えに落とし込む姿が見られた。
- ・iPad を活用した学習（画面共有、写真撮影、個別学習など）では、背筋を伸ばして前向きに取り組む児童の姿が多く見られた。ICT の活用が学習意欲を大きく向上させることができた。
- ・ICT を効果的に活用することで、児童の「ぼくもやってみよう!」「わたしにもできるかも!」という自己効力感を高めることができた。その結果、学習そのものを楽しんだり、意欲的に学ぼうとしたりすることができた。